

# 「長寿・がん化耐性齧歯類 ハダカデバネズミ における耐性機構の探求」

第18回 遺伝学談話会  
第1回 福岡遺伝学談話会

## ● 講演者

三浦恭子

(熊本大学大学院 大学院先導機構 大学院生命科学研究部)

ハダカデバネズミ (Naked mole-rat) は、アフリカの地下に生息するアリやハチに似た真社会性をもつ齧歯類である。マウスと同等の大きさながら、最大寿命は約10倍(32年)の最長寿齧歯類であり、顕著ながん化耐性・低酸素/無酸素耐性・低体温・外温性という様々な特徴を併せもつ。我々はこれまでに、ハダカデバネズミの飼育・繁殖方法を確立して基礎的な研究基盤を構築し、ハダカデバネズミ iPS 細胞における種特異的な腫瘍化耐性機構などを解明してきた。最近は、長寿・老化耐性に寄与すると考えられる、種特異的な細胞老化に対する応答性や、代謝制御機構などが明らかになってきている。日本で唯一の飼育・研究拠点として、モデル動物化に向けた技術開発も開始している。本会ではハダカデバネズミの様々な特徴と我々のこれまでの研究内容を紹介する。



講演者略歴:

2010年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了、医学博士(山中伸弥・岡野栄之両教授に師事)。

慶應義塾大学医学部生理学・特別研究助教

2014年から北海道大学遺伝子病制御研究所・講師。

2016年より同准教授。

2017年より熊本大学 大学院先導機構/大学院生命科学研究部 老化・健康長寿学講座准教授。

## ● 日時

2019年10月4日(金) 15:00 - 16:30

## ● 場所

九州大学 伊都キャンパス

ウエスト1号館 W-D-208

(参加費無料)

## ● お問い合わせ

楠見淳子(九州大学 比較社会文化研究院)

jkusumi@scs.kyushu-u.ac.jp

仁田坂英二(九州大学 理学研究院)

nitasaka.eiji.358@m.kyushu-u.ac.jp

